

事業名	宇宙芸術祭事業	総事業費	40 千円
-----	---------	------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①支援する ②誘客する
事業の実績 と 成果	取組内容	コロナ禍により、感染防止を徹底、人数を限定する等、積極的な展開は難しい状況であった。 宇宙芸術祭としては、千座の岩屋でのスーパープラネタリアムの開催も人数を限定、チケット購入者の97%が島外者であった。 本市では、くろしおアートを含む連携事業も実施できなかった。
	成 果	島外からの誘客にもつながっているとの実行委員会の説明はあるが、本市商店街への誘客につながっているかについては疑問がある。

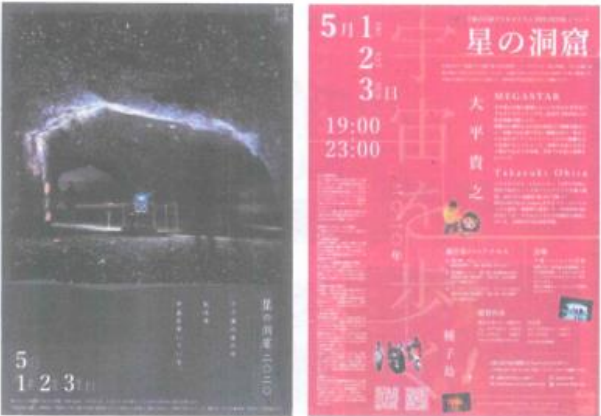
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	くろしおの芸術祭との連携は図られているが、その他のアーティストとのコラボが実施されず、南種子町が主会場となることから、さらなる商店街への誘客が課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	宇宙センターのある種子島において、宇宙をテーマに全島的な芸術活動及びそれによる経済効果を目的としたイベントであったが本市として商店街の誘客等、効果が見えにくく、また会場のメインが南種子町となっていることから、市民の盛り上がりも繋がりにくい状況が続いていた。令和2年度の幹事会及び臨時総会において事業継続の議論を行い、結果として令和3年度から休止し、新たに今後のイベントのあり方等を検討するための組織を立ち上げ、提言を受けることとした。これをもとに、令和3年度中に継続の可否を総会にて判断する予定である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	令和2年度の幹事会及び臨時総会において事業継続の議論を行い、結果として令和3年度から休止し、新たに今後のイベントのあり方等を検討するための組織を立ち上げ、提言を受けることとした。これをもとに、令和3年度中に継続の可否を総会にて判断する予定である。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	星の洞窟ポスター

事業名	まちかどインフォメーションセンター事業
-----	---------------------

総事業費	7,953 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①集客する。情報発信を行う。 ②利用する。 ③運営する。
事業の実績 と 成果	取組内容	まちなかの拠点施設の一つとして定着しつつあり、イベント等の利用の増加も見られていたが、施設の老朽化や駐車場等の問題もあり、より商店街と連携を図るため、場所を移転した。一方で、コロナ禍により、休館やイベントが開催できない等、積極的な取組を展開できない時期も長かったが、商店街の中心地に位置することから、利便性が向上したものと考える。テイクアウト店舗の情報発信等、i通信の発行による積極的な情報発信及び情報収集にも取り組み、年度末には利用者も含めた運営委員会によるイベントの開催も行った。県産業支援センターと連携した事業者の相談会等も実施し、幅広い利用の展開を図った。
	成 果	・イベント 8件 ・サークル・教室 28回 ・セミナー・会議等 16回 ・コロナに対する市の政策とも連携した取組も実施し、市民や商店街にも利用される展開を図った。 ・運営委員会によるイベント開催も実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・コロナ禍の中で、商店街の情報収集や発信として機能強化が必要である。 ・市商工会と連携した本施設の活用も検討し、商店街の店主の意欲を高める取組も必要である。 ・商店街への波及を考慮した企画等が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	商店街の空き店舗を活用し、様々な情報発信と交流の場として商店街への誘客を図り、さらに個店と個店を繋ぐハブ役として取り組んできている。紙媒体での広報誌発行のほか、インターネットを活用したFacebookによる情報や新型コロナウイルス対策を考慮した小規模なイベントも開催し、子供から高齢者まで、幅広い方々に利用して頂き、認知も広がっている。 新型コロナウイルス感染拡大以降、利用者は、減少したものの、商工会や商店街振興協同組合、通り会等とも連携し、新型コロナウイルス対策関連の取り組みとして機能を果たすことで、重要な役割を担えたのではないかとと思う。今後は、事業の継続性の観点から、様々な課題を踏まえ、商店街の主体的、自立的な活動へと転換していけるよう引き続き試行しながら検討していく。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	商店街の空き店舗対策及び情報発信、交流の場として設置を継続する。 商店街への誘客のみならず、商店街での活躍の場としての利用等を図り、市民と個店を繋ぐハブ役として取り組んでいく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	ようーてよろひなまつりポスター

事業名	港町再生検討推進事業	総事業費	14,577 千円
-----	------------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①情報共有する ②協議する・取組む
事業の実績 と 成果	取組内容	基本構想に基づく実施計画により、取組を進めた。歩きたくなるみなとまちを目指した道路空間デザインについて、社会実験として、国道58号の一方通行化を実施した。 市民や商店街等から道路空間のみならず、商店街等にも様々な意見が出され、市民の商店街に対する意識の醸成が図られた。
	成 果	国道58号の一方通行社会実験及び実験に対するアンケート結果

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・市民への基本構想及び実施計画の周知 ・実証実験後の課題解決による本格実施への展開 ・商店街及び市民の当事者意識の醸成
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	「港町再生基本構想」に基づき、長年懸案となっていた商店街の一方通行化について、令和元年度より商店街や地域の代表者からなる道路空間デザインの在り方を検討する委員会を設置し、令和2年度においても検討を重ね、11月に社会実験の実施を行った。新型コロナウイルスの影響で、制限された状況ではあったが、商工会と連携したイベントやアンケート調査も併せて実施することで、今後に向けた貴重なデータや経験が得られたと思う。一方、榕城分団跡地や旧まるそう跡等の中核施設については、コロナ禍において、地元商店街の方との話し合いの場が、多くできなかったことから、次年度以降継続的に検討することとしており、今後全体的な構想を踏まえながら、実現に向け具体的に進める必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	基本構想に基づき、実施計画とともに具体的な取組を進め、一方通行化については交通実態調査や市民との意見交換を踏まえ、実施の有無を決定する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	社会実験の様子

事業名	皆とまち再生支援事業	総事業費	4,215 千円
-----	------------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①②支援する ③活性化する
事業の実績 と 成果	取組内容	事業募集→相談対応→審査委員会による審査（審査委員会開催）→交付決定→補助金交付→実績報告確認。 事業実施後の進捗状況把握。
	成 果	（企業活動支援事業） 商品開発事業1件 （港町再生支援事業） 2件

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	事業実施者への丁寧な支援が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	企業活動支援事業を港町再生基本構想と関連させる形で事業構築を図っており、民間の活動を支援することで、まちづくりの構想実現に繋げ、相乗的な効果が得られている。令和2年度は、基本構想に掲げる歴史的建造物の活用が行われ、今後、商店街の魅力向上と誘客に繋がることを期待する。引き続き、商工会等とも連携を図りながら創業支援としても後押しできるようさらに周知の在り方を含め検討を行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	港町再生の推進とともに地域経済の活性化に向けた支援を行う。
-----------	-------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	補助事業を活用して整備された事例

事業名	商店街によるみなと・まちなかゾーン活性化事業
-----	------------------------

総事業費	4,300 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①運営してもらう ②商店街に集まる
事業の実績 と 成果	取組内容	市商工会及び商店街振興協同組合の主体的な活動として、補助金を交付する。 補助金の申請受付、審査、決定通知、概算申請受付、概算交付、実績報告受付、確定通知
	成 果	(アート) ・ 記念誌の作成 (アニメ) ・ カウントダウンボードの作成及び情報発信 ・ アートはこれまでの市民参画の成果を記念誌としてまとめ、今後の取組への意欲が高まった。 ・ アニメは次年度への展開を見据えて取組を実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	(アート) ・ 継続的な取組として商店街への誘客が図られているが、補助による事業の実施ではなく、自立へ向けた取組も検討する必要がある。 ・ 人的な部分においても負荷がかかっており、その対策を検討する必要がある。 (アニメ) ・ 参加者や活動が見えにくい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	中心市街地の活性化を図る目的で、商工会のまちづくり委員会を中心に商店街の魅力向上と活性化を目指し、芸術やアニメをテーマに活動が行われ、本年度で10年目を迎えた。芸術については、コロナ禍にあって、例年どおりのアートイベントは中止されたが、これまでの活動をまとめた記念誌を発刊した。今後継続的な取り組みにするためにも、組織的に自立できる体制づくりが課題となっている。一方、アニメについては、商工会内で活動を支える人材が限定されており、参加者や活動が見えにくいことが課題となっており、効果的な手法かどうか見極めるための検討が必要である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	本事業は商工会のまちづくり委員会及び市商店街振興協同組合が実施する事業への補助である。 くろしおの芸術祭は、島内外から評価が高く、商店街への回遊と地域の主体的な取組であることから支援を行う。 アニメを活用した誘客については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、取組について縮小し、検討をしながら実施する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 The image shows the front cover of a commemorative magazine. The top half features a bright blue sky with scattered white clouds. The bottom half shows a large group of people, mostly children and young adults, standing in front of a long, low wall. The wall is covered in colorful, hand-drawn murals. The title 'みんなでつくるまちづくり' (Everyone Creates Town Building) is written in large, white, stylized Japanese characters across the center. Above it, in smaller text, is 'くろしおアートプロジェクト10年の記録' (Kuroshio Art Project 10th Anniversary Record). Below the title, there is more small text: 'くろしおアートプロジェクト10年の記録' and 'みんなでつくるまちづくり'.	くろしおの芸術祭記念誌

事業名	マイナンバー活用消費活性化環境整備事業	総事業費	692 千円
-----	---------------------	------	--------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施（Do）

事業の意図		①②周知する
事業の実績 と 成果	取組内容	・市商工会による市内事業者への説明会の実施とともに、市民への広報を行った。
	成 果	説明会 2回 ・スマホの利用方法等も課題であり、別でスマホ教室等も実施した。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	・コロナ禍で国の制度も延長される等の変更ともに、セミナーの開催も難しい時期があった。 ・高齢者のスマホの利用講習等も必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	消費税率引き上げに伴う需要平準化策として、また、東京オリンピック・パラリンピック後の消費を下支えする観点から、マイナポイントを付与する国の制度として、単年度で実施されたものであり、商工会を通じた市内事業者への説明会とともに、市民への広報を行った。 コロナ禍で国の制度も延長される等、変更が出たが、一定の成果を得て、単年度で終了する。

④ 改善（Action）

2021年度方向性	令和2年度で終了。
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	セミナー開催のチラシ

事業名	プレミアム付き飲食店応援券発行支援事業
-----	---------------------

総事業費	3,706 千円
------	---------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①支援する ②応援する ③支援する
事業の実績 と 成果	取組内容	今回の新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な対応として、来島自粛等の影響を受けた飲食店のみを対象として実施した。
	成 果	・ 35,748枚換金（99.3%） 商店街の活性化のみならず、域内消費の活性化とともに飲食店が今後も事業を継続できるような形態への整備や市民が地域の飲食店を応援する機運を醸成することができた。 市商工会への加入等を要件としており、加入促進にもつながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	飲食店による組織等が構成されると協議しながら、迅速に効果的な支援が実施できるものとする。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている飲食店を支援するため、プレミアム付き応援券として市民の意識と関連させる形で発行し、需要に繋げることができ、事業の意義はあったと考える。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	令和2年度で終了。
-----------	-----------

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	新しい生活様式で商店街で買い物しよう意識啓発事業
-----	--------------------------

総事業費	1,141 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①感染防止を行う ②図る ②支援する
事業の実績 と 成果	取組内容	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、安心、安全に商店街で買い物をしていただくため、商店街店舗に消毒液、マスク及び飛沫防止パーテーションを配布。 ・新しい生活様式の啓発を図るため、市内商店街で買い物をした市民に対して、新しい生活様式を記入したエコバックをプレゼント。
	成 果	新しい生活様式に基づき、感染防止策を講じていく取組であり、また、まちなかで情報を発信していくことから市民への感染防止に周知についても、一定の効果があったものとする。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	エコバックのプレゼントに係る周知が不足しており、今後、周知を行っていく必要がある。 中心市街地の環境整備について、進めていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	コロナ禍において、新しい生活様式での商店街利用を促進するため、感染防止対策及び意識啓発に取り組んだ事業であり、意義のある内容であったと考える。啓発活動については、あらゆる機会をとらえて、継続的に行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	新しい生活様式の啓発を図るため、市内商店街で買い物をした市民に対して、新しい生活様式を記入したエコバックをプレゼントする。また、随時、商店街で情報を取得のために商店街の中心部にフリーWi-Fiを整備するとともに、まちなかの憩いの場として整備し、ワーケーションの推進を図る。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	エコバック